

学力向上への取組

発行：訓子府町小中学校学力向上連絡会議

訓子府町教育委員会

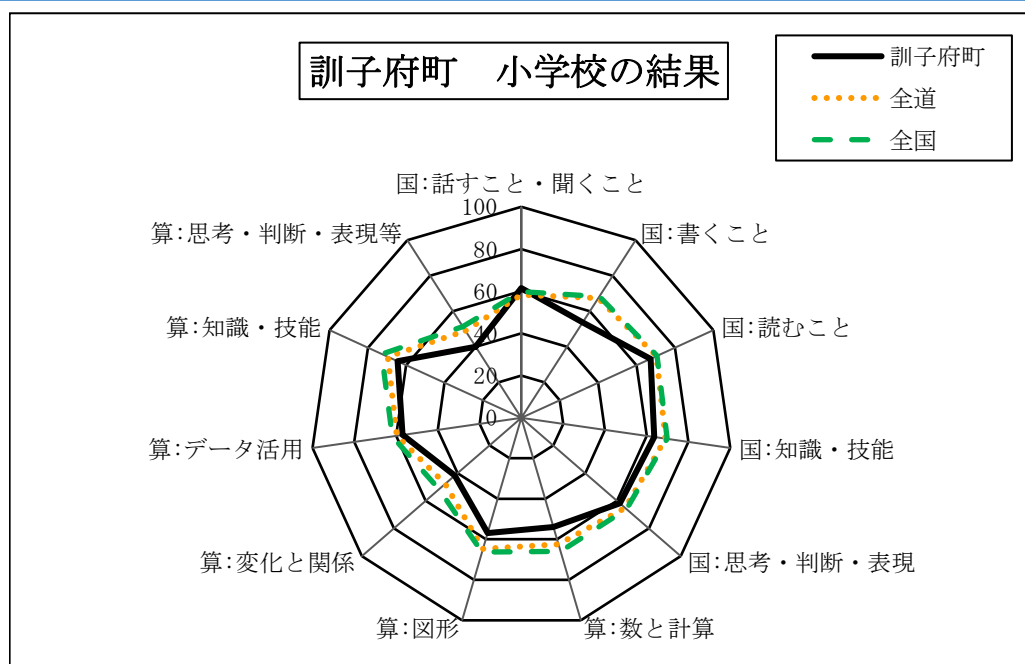
訓子府小学校 居武士小学校 訓子府中学校

～学校・家庭・地域との連携～

予測不可能な時代だと言われています。この時代に未来への希望と可能性を感じるよう、持続可能な未来を創造するのは、少し先を歩んでいる大人と、後から急ぎ足で追いつき追いつ越そうとしている子どもたちです。この持続可能な社会づくりの基盤となるのは、大人と子どもが共に学び合うことで実現します。つまり学校・家庭・地域の大人たちも協力し、統一して取り組んでいくことが大切になると思います。

さて、令和6年4月に全国の小学6年生と中学3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果をもとに、訓子府町の子どもたちの学力や学習・生活環境の現状と町内全ての学校で統一して取り組んでいる学力向上策についてお伝えします。

訓子府町の児童・生徒の学力の状況

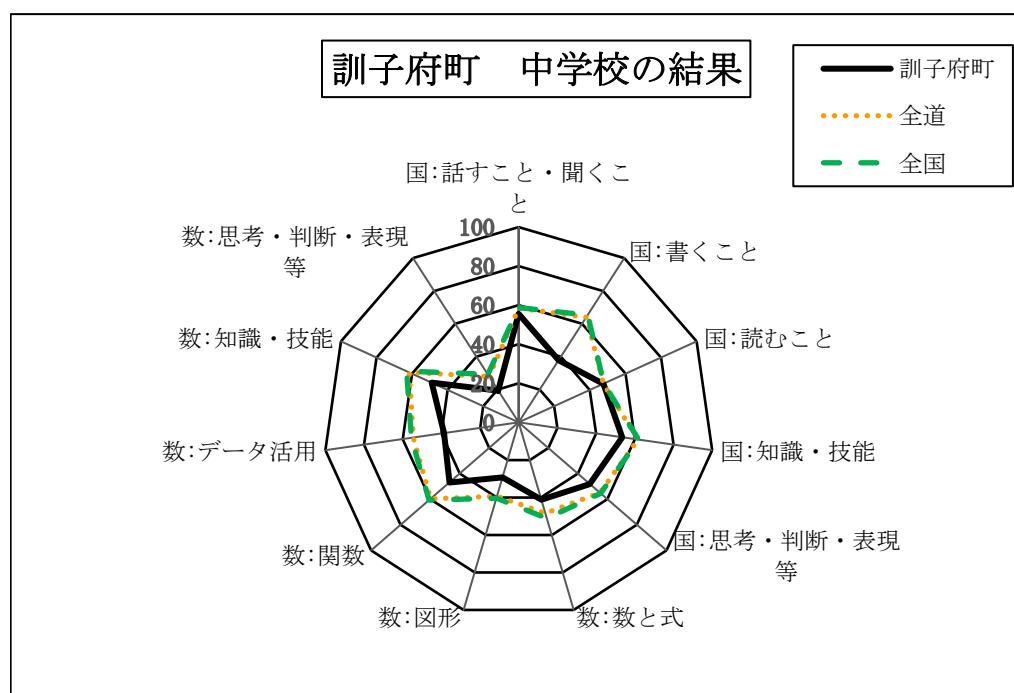


【国語】

- ★「話すこと・聞くこと」については平均正答率において全国平均を上回りましたが、その他の学習領域については全国・全道平均を下回りました。特に「書くこと」に大きな差がありました。今後も、互いの立場や意図を明確にした話し合いを進め、習った漢字を使いながら自分の考えを文章に表す授業づくりを続けていきます。

【算数】

- ★全ての学習領域において全国・全道平均を下回りましたが、データを活用する力は全国・全道平均に近づいています。今後は「知識・技能」である基礎・基本を定着させるために、定着していない児童への個別対応や家庭と連携しながら、宿題や家庭学習の充実に取り組んでいきます。



【国語】

- ★国語は読むことが全道平均を上回りましたが、その他については、全国・全道平均を下回りました。特に書くことにおいては、全国・全道との差もあり課題となりました。

【数学】

- ★数学はどの領域も全国・全道平均を下回りました。特に、データ活用と関数については差があり、課題となりました。

国語・数学に限らず、他教科の授業においても「言葉にまとめる」「説明し合う」設定をし、書くことをとおして自分の意見をしっかりと表現できるように取り組んでまいります。また、授業の規律を定着させることやワークブックの積極的な活用、定期テストに向けての計画的な学習指導を行い、思考・判断・表現力を高めていきます。

訓子府町内小中学校の児童生徒質問紙から

町内3校の児童生徒質問で共通していた回答から、家庭学習の時間が少ないことがわかりました。「普段、学校以外に1日あたりどのくらいの時間勉強をしますか」についての回答では、「30分より少ない」の回答が多い結果となりました。また、「放課後や週末に何をしてお過ごしが多いですか」について一番多かった回答は、「テレビ・動画・SNS」でした。文頭にもあったように、これから未来への希望と可能性を感じるためには、大人と子どもが共に学び合い、学校・家庭・地域が協力しながら統一した取組が必要になります。そのためには、授業で学んだことを定着させるためにも学校ばかりでなく、家庭・地域の皆様にも学校の取組をご理解いただき、地域で子どもを育てなければならないと考えます。

町内小中学校では「家庭学習の充実」を重点として、授業内容を定着させる宿題の提供や自ら計画を立てて学習する指導をしています。また、1人1台のタブレット端末の持ち帰りを通してデジタルドリルや学習アプリを効果的に使う活動に取り組んでいます。児童生徒の「確かな学力」の定着に向けて、家庭や地域の協力を得ながら進めてまいります。